

# 2024年度 授業改善推進プラン(全体計画)

## 学校経営方針(学力向上に関わる要点)

**基礎学力の定着と創造力の育成**  
 ○意欲的に学習する生徒の育成を目指し、全教員の一致した指導を徹底する。  
 ●授業改善の推進 ●向上意欲の喚起 ●家庭学習・朝読書の習慣化 ●計画的な進路指導 ●望ましい勤労観・職業観の指導  
 ●適切な個に応じた指導 ●放課後や長期休業中の補習の実施 ●教材や教具の適切な購入・活用・管理  
 ●ICT機器やコンピューター室・図書室の有効利用 ●週案の正確な記入と進行管理 ●体力・運動能力の向上  
 ●継続したオリンピック・パラリンピック教育の推進実践

## 授業改善の重点

**基礎学力の定着と創造力の育成**  
 ○意欲的に学習する生徒の育成を目指し、全教員の一致した指導を徹底する。  
 ●授業改善の推進 ●向上意欲の喚起 ●家庭学習・朝読書の習慣化 ●計画的な進路指導 ●望ましい勤労観・職業観の指導  
 ●適切な個に応じた指導 ●放課後や長期休業中の補習の実施 ●教材や教具の適切な購入・活用・管理  
 ●ICT機器やコンピューター室・図書室の有効利用 ●週案の正確な記入と進行管理 ●体力・運動能力の向上  
 ●継続したオリンピック・パラリンピック教育の推進実践

各教科の指導の重点	国語科	美術科	総合的な学習の時間の指導の重点	特別の教科 道徳の指導の重点
	○ICT機器を効果的に使用し、学習の流れや視聴覚資料の掲示による導入などを工夫、生徒の意見の情報収集などを行い、学習意欲を引き出す。 ○語句や漢字の練習の時間を設け、言語知識の定着を図る。 ○単元ごとに学習内容や学習方法についての振り返りを継続して記入させ、生徒の授業に対する主体性を評価する。	○生徒の興味関心を高めるため、各学年ともに題材の内容やアプローチを順次新しいものに変えていく。 ○ICT機器等を活用し、生徒が見通しをもって学習に集中できる環境を整える。 ○鑑賞の時間では隣同士やグループで意見交換ができるようにワークシートなどを工夫する。	○各教科、道徳及び特別活動で身に付けた知識や技能等を相互に関連付け、それらを総合的に働かせる能力や態度を養う。 ○地域や社会の様々な人、もの、ことに関わる探究的な学習を通して、課題を発見するとともに、ICT機器を活用しながら自ら探究し、表現できる能力を身に付けさせる。 ○地域や社会の様々な人、もの、ことに関わる探究的な学習に主体的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、自ら社会に参画しようとする態度を育てる。	<第1学年> 中学生としての自覚をもち、望ましい生活習慣を確立する。 <第2学年> 集団生活での役割・規範意識を高め、責任感と公共心、自主的な態度と向上心を養う。 <第3学年> 生命の尊さを理解し、克己心をもちつつ自己を尊びながら、理想の実現を目指して未来を切り拓いていく力を育てる。
	社会科	保健体育科	特別活動の指導の重点	
	○スライドやホワイトボードアプリを活用し、生徒の意見交流、発表などを効果的に行う。 ○単元を通して課題を設定し、それらを適切に評価する場を設ける。 ○目標を意識した振り返りを授業ごとに行い、生徒が見通しをもち、かつ、授業ごとのつながりを意識して授業に取り組めるようにする。 ○視覚教材を活用し、生徒の意欲を高め、理解を深めるよう授業を構成する。	○授業の始めに本時の目標や授業の流れを提示し、生徒が見通しをもって授業に取り組むことができるようにする。 ○説明時に図やICT機器を用いることや、模範を見せることにより、聴覚と視覚の両方からアプローチし、さらに理解を深めるようにする。 ○グループ活動や生徒による模範演技を取り入れ、良い点と改善すべき点を観察し、教え合うことで互いを認め合い、技能を高め合うことができるようにする。またICT機器も活用し、お互いの活動の様子を撮影し学び合いが行えるようにする。	○環境美化活動やボランティア活動などの体験的活動を通して自ら実践する態度と奉仕的精神を育てる。 ○一人一人が意欲的に実践する生徒会活動の充実を図り、生徒の自治的な能力を高める。 ○開かれた学校づくりを推進するため、地域の特性を生かした体験活動として、地域との連携を強め、学校支援ボランティアの協力を得た放課後学習や奉仕	
	数学科	技術・家庭科		
	○ICT機器やデジタル教科書を使用し、視覚的にわかりやすい授業を展開する。 ○基礎学力の定着を目指し、ワークやタブレット端末やドリルソフト、を活用した演習の時間を設ける。 ○授業に振り返りの時間を設け、生徒の取組や理解度をみとる。	○授業開始時や単元の冒頭に本時の目標や授業の流れを提示することで、具体的に何を学ぶのかを理解させてから学習を開始する。 ○単元ごとに深い学びにつながるように工夫した指導をする。 ○作業の中で対話的な時間を増やし協同的な学びの時間を取り入れて 指導する。 ○作業の時間を多く取るために視聴覚・ICT機器等を利用し、明瞭かつ簡潔に作業の説明や知識的な部分の解説ができるよう工夫する。 ○各授業で振り返りシートを記入させ、より実践に結びつけるよう主体性をみとる。		
	理科	外国語科		
	○ICT機器を効果的に使用し、実物等を見せることで導入などを工夫し、学習の見通しをもたせ、生徒の学習意欲を引き出す。 ○一人一台端末を使用し、実験に関する考察などを共有し、対話的な学習を効果的に行う。 ○実験・観察を多く取り入れ、事象に対する疑問を探究しながら解決する学習を行う。	○授業開始時に本時の目標や授業の流れを提示することで、授業に対する意欲を高めるようにする。 ○生徒の興味・関心を高めるような教材を工夫し、授業環境を充実させるために、プロジェクターの導入による電子教科書の活用などを進めていく。 ○ペアでの会話やスピーチなどの活動を通して、会話する力を高めるとともに、お互いを認め合い高め合う意識を育てるようにする。		
	音楽科			
	○歌唱の授業では、生徒の集中力や取組に向かう姿勢を維持するために見通しをもたせた授業を行い、歌を積極的に歌えるようにする。 ○さまざまな音楽活動においてICTを積極的に活用し、生徒の興味関心を幅広く引き出す工夫をする。 ○毎時間振り返りシートを記入させ、学んだことや感じたことを整理させ学びが深まるようにする。 ○グループ活動や実技における教え合い、発表等を積極的に取り入れ技能を高め合えるようにする。			

本校の授業改善に向けて	ICT機器の活用	見通しをもたせる導入	振り返りの設定
	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒用の一人一台端末を使用し、生徒同士の意見交流や、発表などを活性化し、対話的で深い学びを実践する。</li> <li>タブレット、学習支援ツールを活用し、校務の効率化を行う。</li> <li>プロジェクターに教材を映すことをはじめ、テレスタディ、面談を実施し、学習の保障を徹底して行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>導入として、生徒が本時で何をどのように学ぶのか、その見通しがもてるように、学習の流れや目標を提示する。</li> <li>学習の目標を単に掲示するのではなく、発問を工夫することで、生徒自らがその目標を設定し、「どうしてだろう」「やってみよう」と、生徒の内発的な動機が高まるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の終盤や、単元終了後、生徒が課題を解決するために試行錯誤したこと、他の生徒との意見交換で感じた内容など、身に付いた力やできるようになったこと等を振り返る場面を設定する。</li> <li>生徒に自己評価をさせ、自分の言葉で表現できるように指導する。</li> </ul>